

**製品名: CYP2C19 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09652**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	56kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CYP2C19
別名	CYP2C19; Cytochrome P450 2C19; (R)-limonene 6-monooxygenase; (S)-limonene 6-monooxygenase; (S)-limonene 7-monooxygenase; CYP11C17; CYP11C19; Cytochrome P450-11A; Cytochrome P450-254C; Mephenytoin 4-hydroxylase
遺伝子 ID	1557.0
SwissProt ID	P33261
免疫原	抗血清はヒトシトクロム P450 2C19 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 241-290

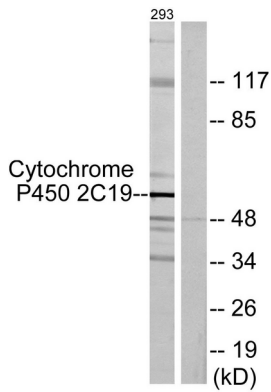
## 背景

シトクロム P450 ファミリー 2 サブファミリー C メンバー 19 (CYP2C19) ホモサピエンスこの遺伝子は、シトクロム P450 スーパーファミリーの酵素のメンバーをコードしています。シトクロム P450 タンパク質はモノオキシゲナーゼであり、薬物代謝やコレステロール、ステロイド、その他の脂質の合成に関わる多くの反応を触媒します。このタンパク質は小胞体に局在し、抗てんかん薬メフェニトイン、オメプラゾール、ジアゼパム、一部のバルビツール酸系薬剤など、多くの生体異物を代謝することが知られています。この遺伝子内の多型は、メフェニトインの代謝能力の変動と関連しており、低代謝型および高代謝型の表現型として知られています。この遺伝子は、染色体 10q24 上のシトクロム P450 遺伝子のクラスター内に位置しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性: (+)-(R)-リモネン + NADPH + O(2) = (+)-トランス-カルベオール + NADP(+) + H(2)O.,触媒活性: (-)-(S)-リモネン + NADPH + O(2) = (-)-ペリリルアルコール + NADP(+) + H(2)O.,触媒活性: (-)-(S)-リモネン + NADPH + O(2) = (-)-トランス-カルベオール + NADP(+) + H(2)O.,注意: P450-254C は当初、別の遺伝子 (CYP2C17) として記載されておりました。再配列の結果、別の遺伝子ではなく、キメラであることが示されました。5'-部分は部分的な 2C18 クローンに対応し、3'-部分は部分的な 2C19 クローンに対応します。補因子:ヘム基。機能:抗てんかん薬 S-メフェニトイン、オメプラゾール、プログアニル、特定のバルビツール酸系薬剤、ジアゼパム、プロプラノロール、シタロプラム、イミプラミンなど、多くの治療薬の代謝を担っています。誘導:P450 は、薬物、農薬、発癌物質などのさまざまな外来化合物によって肝臓やその他の組織で高レベルに誘導される可能性があります。オンライン情報:CYP2C19 アレル,多型:CYP2C19 の遺伝的変異は、薬物代謝不良の原因です[MIM:609535]。個人は、高代謝者 (EM) または低代謝者 (PM) として特徴付けられます。PM 表現型は常染色体劣性遺伝で、EM 表現型はホモ接合優性遺伝子とヘテロ接合優性遺伝子の両方から構成されます。この多型の頻度には人種間で顕著な差があります。低代謝者は白人では 2~5%、アジア人では 13~23%、ポリネシアおよびミクロネシアの一部の島では 38~79%に上ります。CYP2C19 のさまざまな対立遺伝子が知られています: CYP2C19\*1A CYP2C19\*1B、CYP2C19\*1C、CYP2C19\*2A (CYP2C19m1 または CYP2C19m1A)、CYP2C19\*2B (CYP2C19m1B)、CYP2C19\*2C (CYP2C19\*21)、CYP2C19\*3A (CYP2C19m2)、CYP2C19\*3B (CYP2C19\*20)、CYP2C19\*4 (CYP2C19m3)、CYP2C19\*5A (CYP2C19m4)、CYP2C19\*5B、CYP2C19\*6、CYP2C19\*7、CYP2C19\*8、CYP2C19\*9、CYP2C19\*10、CYP2C19\*11、CYP2C19\*12、CYP2C19\*13、CYP2C19\*14、CYP2C19\*15、CYP2C19\*16、CYP2C19\*18、CYP2C19\*19。CYP2C19\*2 および CYP2C19\*3 の欠陥アレルは、それぞれスプライス変異および終止コドンの特徴とし、PM アレルの大部分を占める。示されている配列は、アレル CYP2C19\*1B のものである。類似性: シトクロム P450 ファミリーに属する。

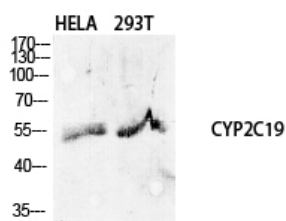
## 研究分野

アラキドン酸代謝、リノール酸代謝、レチノール代謝、シトクロム P450 による異物代謝、薬物代謝

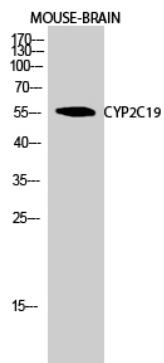
## 画像データ



シトクロム P450 2C19抗体を用いた 293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000 に希釈した CYP2C19 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



1: 1000 希釈の CYP2C19 ポリクローナル抗体を用いたマウス脳細胞のウェスタンブロット解析